

Together for Future

国や文化、あらゆる違いを越えて心に平和の砦を築こう!



2023 年度

関東ブロック・
ユネスコ活動研究会
in 東京



2023 年 9 月 3 日 (日)

会場：青山学院大学 (17 号館 本多記念国際会議場)

主催：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟／関東ブロック・ユネスコ連絡協議会／東京都ユネスコ連絡協議会

後援：東京都教育委員会／渋谷区／渋谷区教育委員会／青山学院大学

目次

2 開催趣旨 大会プログラム

3 主催者挨拶

4 来賓挨拶

5 関東ブロック・ユネスコ青年活動研究会

ウェルカム映像

各地のユネスコ活動紹介コーナー

交流会

6 特別講演

7 日本ユネスコ国内委員会報告

日本ユネスコ協会連盟報告

都ユ連「2000 人プロジェクト」報告

8 分科会

11 UNESCO 憲章 (前文)

12 ユネスコの歌

青山学院大学青山キャンパス構内案内図

■開催趣旨 国や文化、あらゆる違いを越えて心に平和の砦を築こう！

この度、関東 1 都 5 県のユネスコ会員が一堂に会する「2023 年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会」を 7 年ぶりに東京にて開催いたします。テーマは、「Together for Future 国や文化、あらゆる違いを越えて心に平和の砦を築こう！」です。広く会員以外の皆様にもご来場いただき、交流を深めながら、ユネスコの理念や SDGs・持続可能な未来の実現に向けて、「私たちに今、何ができるかを共に考え、Action を起こし、次世代へと活動をつないでいくための研究会」といたします。

■大会プログラム

2023 年 9 月 3 日（日曜日）会場：青山学院大学 17 号館



17 号館 6 階 17606 教室

10:00~12:00 関東ブロック・ユネスコ青年活動研究会

17 号館 6 階 本多記念国際会議場

11:30 受付開始

12:00~13:00 ウェルカム映像

13:00~13:30 開会式

ユネスコの歌斉唱

主催者挨拶

東京都ユネスコ連絡協議会 会長 永野 博

日本ユネスコ協会連盟 会長 佐藤 美樹

来賓挨拶

文部科学省国際統括官・

日本ユネスコ国内委員会事務総長 岡村 直子氏

東京都教育長 浜 佳葉子氏

渋谷区長 長谷部 健氏

学校法人 青山学院 院長 山本 与志春氏

13:40~14:40 特別講演「ファッションの持つエネルギー」

講師：コシノジュンコ氏

14:40~15:15 報告

日本ユネスコ国内委員会 委員 松本 千恵子氏

日本ユネスコ協会連盟

都ユ連 2000 人プロジェクト

17 号館 6 階

15:30~16:40 17606 教室

第 1 分科会「異文化理解・国際交流」

本多記念国際会議場

第 2 分科会「世界遺産・未来遺産」

17607 教室

第 3 分科会「科学・環境、ユネスコスクール」

17 号館 本多記念国際会議場

16:55~17:30 閉会式

分科会報告

青年評議員会報告・青年活動報告

次年度開催地挨拶

茨城県ユネスコ連絡協議会

閉会挨拶

実行委員長 池田敬介

レストラン SINONOME (旧青学会館 3 階)

18:00~20:00 交流会

公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟
会長 佐藤 美樹



「関東ブロック・ユネスコ活動研究会」の主催者としてご挨拶申し上げます。本日の研究会が、参加された皆様にとって新たな発見の場となり、学びと交流がこれからのユネスコ活動の新たな原動力となることを期待しています。

民間ユネスコ運動を推進するユネスコ協会・クラブは、日本全国に270超あり、所属する会員は1万4500人います。世界では80カ国、4000以上のユネスコ協会があります。ウクライナ避難民への支援では、現地のユネスコ協会と連携して支援を届けました。これからも、日本各地、世界のユネスコ協会とともに手を取り合って、ユネスコの理念を実現するには何が必要なかを考えながら活動を展開していきたいと、皆様のご協力をお願い申し上げます。

本研究会の開催にあたり、格別のご尽力、ご協力をいただいた関係諸団体の皆様、また本研究会を共催いただいた関東ブロック・ユネスコ連絡協議会、主管の東京都ユネスコ連絡協議会の皆様に深く感謝申し上げますとともに、研究会の成功を心より祈念いたします。

東京都ユネスコ連絡協議会
会長 永野 博



本日は日本ユネスコ協会連盟と東京都ユネスコ連絡協議会が共同して開催する「関東ブロック・ユネスコ活動研究会」にご参加いただき有難うございます。

今回の大会のテーマは、「Together for future! 国や文化、あらゆる違いを越えて心に平和の砦を築こう!」といたしました。ロシアによるウクライナ侵攻を目の当たりにして、私たちの活動のよりどころであるユネスコの理念が今ほど切実にその実現を求められていることはありません。ユネスコの理念は国家間の取り決めにより実現するわけではなく、異なる文化、人々を理解しようという私たち一人ひとりの努力により初めて実現するものです。民間ユネスコ運動の存在価値が試されているといえます。

特別講演においてファッションデザインで世界中の人々と交流を重ねてこられたコシノジュンコさんをお迎え、「ファッションの持つエネルギー」と題するお話をお聞きできることは、ご参加の皆様にも今後の活動の心の糧をいただけるものと確信しております。青年活動研究会、分科会報告とあわせて本日の研究会が、「私たちが今、何をすべきか」を考える上での貴重な機会となることを願っております。

2023
関東ブロック・ユネスコ活動
研究会実行委員会
実行委員長 池田 敬介



7年ぶりに、日本ユネスコ協会連盟・東京都ユネスコ連絡協議会主催の「関東ブロック・ユネスコ研究会 in 東京」が巡って参りました。

ご参加くださった多くの皆様、特別講演を快く引き受けくださったコシノジュンコ様、ご来賓の皆様方に、心より感謝、御礼を申し上げます。

今から62年前に発会した東京都ユネスコ連絡協議会は、2022年に「2000人プロジェクト」を立ち上げました。現在11のアクションが活動中で、ユネスコ協会・クラブの壁を越えて共に連携する中で、課題を再認識し、問題解決の方法を明らかにした上で、それぞれの協会・クラブにフィードバックする、地域や国際社会の課題に根差した活動を構築するための「道しるべ」となる役割を担っています。

AI技術が刻々と発展を遂げ、私たちの生活を大きく変えようとしている矢先、ウイルスがすべての地球上の生活リズムを狂わせてしまった空白の3年間を経て、私たちは今、未来に向けて変革の時代の真ただ中を生きています。

研究会で多くの出会いを通して得た経験を、それぞれの現場に持ち帰り、平和への草の根運動に生かし、未来に生きる子どもたちの良き導き手として活躍されますことを切に願っています。

文部科学省国際統括官・
日本ユネスコ国内委員会事務総長
岡村 直子氏



「2023 年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 東京」の開催を、心よりお祝い申し上げます。また、関係の皆様におかれましては、日頃よりユネスコ活動の推進に御尽力いただいていることに改めて敬意を表します。

今回の研究会は、「Together for Future 国や文化、あらゆる違いを越えて心に平和の砦を築こう！」をテーマに、私たちに今、何が出来るかを共に考え、Action を起こし、次世代へと活動をつないでいくための研究会であると同っており、大変期待しています。日本ユネスコ国内委員会においても、これからの時代におけるユネスコ活動の在り方について議論を行っており、皆様とともに、教育・科学・文化を通じた「人の心の中に平和のとりでを築く」ための方策について考え、取り組んでまいります。

最後になりますが、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、関東ブロック・ユネスコ連絡協議会及び東京都ユネスコ連絡協議会をはじめ、本日お集りの関東1都5県の関係の皆様のみますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

東京都教育長
浜 佳葉子 氏



「2023 年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会」が多数の皆様のご参集のもと、東京都において開催されますことを心からお喜び申し上げます。会員の皆様におかれましては、教育・科学・文化の諸事業を通じて、世界中の人が理解しあい、平和で持続可能な社会を目指し多大な貢献をしておられますこと、改めて深く敬意を表するものでございます。

都教育委員会では、「東京都教育施策大綱」に基づき、「誰一人取り残さず、全ての子供が将来への希望を持って、自ら学び、育つ教育」を目指し、一人ひとりの個性や能力にあった最適な学びの実現や、教育のインクルージョンなど、多様な施策を推進しております。

また、本年4月、新たに「グローバル人材育成部」を設置し、世界の一員としての自覚や多文化共生の精神を備えた人材の育成を進めております。

こうした取組みは、国際平和と人類共通の福祉の実現を目指す日本ユネスコ協会連盟の活動とも相通じるものであり、今後も皆様とともに、東京都の教育の充実に一層努めてまいります。

結びに、本研究会のご成功とユネスコ活動の更なるご発展を祈念し、挨拶に代えさせていただきます。本日はおめでとうございます。

渋谷区長
長谷部 健氏



このたびは、「2023 年度 関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 東京」が開催されることをお慶び申し上げます。また、日頃から、ユネスコ協会の皆様、ユネスコの理念のもと、世界の平和と人類の福祉に貢献するために、教育、科学、文化等に関連する様々な活動に取り組まれてきたことに、あらためて敬意を表したいと思います。

渋谷区は、2016 年 10 月に策定した渋谷区基本構想で、区の未来像を「ちがいをちからに変える街。渋谷区」としています。人々のあらゆる多様性（ダイバーシティ）を受け入れるだけにとどまらず、その多様性をエネルギーへと変えてゆくこと（インクルージョン）によって、人種、性別、年齢、障害を超えて、渋谷区に集まるすべての人の力を、まちづくりの原動力にしていきたいと考えています。

今回の関東ブロック・ユネスコ活動研究会のテーマである「Together for Future 国や文化、あらゆる違いを越えて心に平和の砦を築こう！」は、渋谷区の基本構想のビジョンとまさに共通するもので、研究会の活動の成果が発信されることは渋谷区にとっても大変意義があるものと感じています。

本研究会が、ユネスコ協会会員をはじめ多くの参加者の皆様と交流を深める有意義な会となり、そして、未来に向けて、関東ブロック・ユネスコ活動研究会の活動がさらに発展していくことをご祈念申し上げます。

学校法人 青山学院 院長
山本 与志春氏



「2023 年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会」が青山学院で開催されますことを心より感謝いたします。今年度のテーマ「Together for Future 国や文化、あらゆる違いを越えて心に平和の砦を築こう！」は、今私たちが享受しているものは私たちだけのものではなく、未来の人たちに引き継ぐ使命があり、その使命を果たすためには、それぞれの違いを尊重し互いに仕え合うことで、共に平和を作り出そうとの力強い決意を示されたものと存じます。

本学は、愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人を育成することを教育の目的としております。それは「それぞれ賜物を授かっているのですから、その賜物を生かして互いに仕え合いなさい」との聖書の言葉に示されるように「地の塩、世の光」「サーバント・リーダー」として生きる人を育むことです。本学が目指す人は、ユネスコの設立理念である世界の平和と人類の福祉に貢献する人であり、武力によらない本当の平和を作る人であると存じます。戦争や内乱・差別や弾圧が世界各地で継続している現在、時機を得た意義深い主題を掲げられ、研究・協力が進められますことをお慶び申し上げます。

関東ブロック・ユネスコ青年活動研究会 10:00~12:00 17号館 6階 17606教室

青年たちが中心となって連携し学び合う青年活動研究会

さまざまなユネスコ協会や大学ユネスコクラブをはじめ多くの青年たちの協働により、持続可能な社会創りを考えてゆきます。

<テーマ>

- 教育の未来~2050年に向けて 私たちの未来の再構築を
- 地域の文化遺産を未来へ
- 異文化理解を通じた「平和の文化」構築を

※午後の閉会式にて青年評議員報告・青年活動報告を行います。



ウェルカム映像

12:00~13:00 17号館 6階 本多記念国際会議場

東京都内の各ユネスコ協会・クラブの活動を映像でご紹介します。

開会式までのひととき、お楽しみください。

各地のユネスコ活動紹介コーナー 13:00~17:30 本多記念国際会議場ホワイエ

関東ブロックの各地のユネスコ協会・クラブのチラシ・会報などを会議場ホワイエにて展示・配布していますので、ご覧ください。

交流会 18:00~20:00 レストラン「SINONOME (シノノメ)」(旧青学会館3階)

久しぶりの対面での交流会。洋食とフリードリンクで歓談のひとときをお楽しみください。

※会場は青山学院大学正門を出て右に歩き、一つ目の角を右に曲がった道の右手にあります。(P12 地図をご参照願います。)東門は閉鎖されていますのでご注意ください。1階の「茶珈堂」入口に入って右手にエレベーターがあります。



特別講演

13:40~14:40 本多記念国際会議場

「ファッションの持つエネルギー」



JUNKO KOSHINO

コシノ ジュンコ氏

- ・VISIT JAPAN 大使
- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 文化・教育委員
- ・国際博覧会誘致特使
- ・ミャンマー観光大使
- ・文化庁「日本博」企画委員
- ・大阪マラソンアンバサダー
- ・大阪万博シニアアドバイザー

<プロフィール>

- ・大阪府岸和田生まれ。文化服装学院デザイン科卒業。
- ・1978年より22年間パリコレクション参加。北京（1985年・2015年）、NYのメトロポリタン美術館（1990年）、ベトナム（1994年・2018年）、キューバ（1996年・2009年）、ポーランド（1997年・2013年・2016年）、ミャンマー（2009年・2013年）、スペイン・ロシア（ポリショイ劇場）・パリ市庁舎にて（2018年）、世界各国でファッションショーを開催。
- ・1992年中国歴史博物館（北京）デザイン展開催。
- ・2008年ケネディー・センター（ワシントンD.C）におけるJapan Festival ショー。
- ・2010年ローマ国際映画祭でパフォーマンスショー。
- ・オペラ《蝶々夫人》・《魔笛》からブロードウェイミュージカル《太平洋序曲》（トニー賞ノミネート）、TAOの舞台衣装、スポーツユニフォームやインテリアデザイン、沖縄の琉球海炎祭にて花火のデザインも手掛ける。
- ・東日本大震災発生以降、復興支援活動にも力を入れている。
- ・2022年大分県立美術館 OPAM コシノジュンコ「原点から現点」開催。
- ・2023年11月23日~2024年1月21日あべのハルカス美術館コシノジュンコ「原点から現点」。

<受勲・受賞>

- ・文化出版局 装苑賞受賞
- ・「第22回 FEC賞」受賞
- ・駐日イタリア大使より「イタリア連帯の星」カヴァリエーレ章受勲
- ・モンブラン国際文化財団より「モンブラン国際文化賞」受賞
フランス・チーズ鑑評騎士の会名誉シュヴァリエ叙任
シャンパーニュ騎士団より「ダム・ド・ヌール」叙任
- ・日本とキューバの文化功績を称え、キューバ共和国国家評議会より「キューバ共和国友好勲章」受勲
- ・ポーランド・ウッチ・ストシェミンスキ芸術大学より名誉博士号授受
- ・京都府より「京都府あけぼの賞」受賞
- ・外務大臣表彰受賞 ・文化功労者顕彰 ・旭日中綬章受章

<テレビ・ラジオ・新聞>

- ・2011年NHKドラマ連続テレビ小説「カーネーション」放送
- ・2019年日本経済新聞「私の履歴書」
- ・毎週日曜日17時~TBSラジオ「コシノジュンコ MASACA」放送中

<書籍>

- ・「コシノジュンコ流おもてなし」「人生これからや」PHP研究所
- ・「お母ちゃんからもろた日本一の言葉」イースト・プレス
- ・「大丈夫」「大丈夫日めくりカレンダー」世界文化社

日本ユネスコ国内委員会報告

14:40~14:55 本多記念国際会議場

日本ユネスコ国内委員会委員 松本千恵子氏

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 評議員
群馬県ユネスコ連絡協議会 前事務局長
高崎ユネスコ協会 事務局次長

UNESCO や日本ユネスコ国内委員会の最近の動きなどを報告します。



日本ユネスコ国内委員会
HPをご覧ください。



公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

14:55~15:05 本多記念国際会議場

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の最近の動きなどを報告します。

公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟
HPをご覧ください。



都ユ連「2000人プロジェクト」報告

15:05~15:15 本多記念国際会議場

○「2000人プロジェクト」とは・・・

各ユネスコ協会・クラブのメンバーが組織の垣根を越えて、共にユネスコの理念に共感する仲間を増やし、次世代へと民間ユネスコ運動をつなげることをめざして、東京都ユネスコ連絡協議会にて立ち上げた、新しい組織拡充プロジェクトです。

2021年度、3回のキックオフイベントを開催し、「今、平和ではないこと」について話し合い、仲間づくりをしながら、具体的なアクションを考えました。こうして生まれたアイデアをもとに、新たなアクションを起こしたいリーダーを募集し、2022年度から活動をスタートしました。現在、11のアクションが、それぞれアクションリーダー主導で、組織の壁を越えて連携し活動しています。

会員数を増やすことが目的ではありません。今いるユネスコ会員が楽しく充実した活動をするすることで、共に活動する仲間が増え、その結果として、現在約1000人の都内のユネスコ会員が2000人に増えたら・・・そんな思いで活動しています。

○「2000人プロジェクト」の11のアクション

- ① バーチャルスタディツアー
- ② 異文化アカデミー
- ③ もちまるプロジェクト（ゴミ問題からSDGsを考える）
- ④ 「Futures of Education」勉強会
- ⑤ 世界遺産登録を目指す玉川上水プロジェクト
- ⑥ こども世界遺産クイズ
- ⑦ 大学ユネスコクラブ間ネットワーク
- ⑧ ESD/SDGs 研究会
- ⑨ 世界遺産登録を目指す国立代々木競技場
- ⑩ 都ユ連交流有志の会
- ⑪ 未来に向けた地域遺産応援プロジェクト

※右のチラシのLineアカウントに登録いただくと、各アクションからのイベント案内などが届きます。



(1) ウクライナ支援コンサート

土浦ユネスコ協会 会長 稲本修一

私たちは理事会で「ウクライナの支援のために、何らかのアクションを起こそう」ということで、「平和の鐘を鳴らそう」を4月同日に2カ所で行った。14万円ほどのチャリティが集まった。

その後戦況がますます激しくなる中で、「何かもっとインパクトのある活動が出来ないものか」と思案していたとき、偶然、ウクライナ出身の世界的なオペラ歌手、オクサーナ・ステパニックさんの新聞記事を見て、「これだ!」と早速連絡をとったところ、出演の快諾をいただいた。

普段なら市民ホールの日曜日などは、1年前に予約で詰まっているところが、コロナの影響で8月28日が空いていた。早速、土浦市やつくば市の教育委員会、商工会議所、ロータリークラブ、ライオンズクラブ等に後援を依頼し、同時にロータリークラブ・ライオンズクラブの皆様には1口1万円の協賛依頼に奔走した。70万円集まった。これで全ての経費が充分賄える。あとはチケットを売る事に専念、ユネスコのメンバーが頑張ってくれた。

当日を迎えた。チケットはそこそこ捌いたが、まだコロナの最中だ。1000人収容のホールだが、感染対策上4割から5割入ってくれればと願っていたが、400人強の方が来てくださった。

コンサートは、第1部、森の学園の小中学生とオクサーナさんとウクライナの民謡とウクライナ国歌を原語で合唱した。観客は驚きと感動の拍手を送った。



第2部、第3部はピアノの伴奏で日本の歌曲を始め、オペラの名曲の数々を熱唱。2度のアンコールの後、出口の扉を開いたのにも関わらずスタンディングオベーションで拍手が鳴りやまず、予定外の3度のアンコールで幕を閉じた。僅か3カ月足らずの準備期間だったが、スタッフ一同の努力が報われた気がした。収益は約105万円、ユネスコ本部に送金した。

まだ、出口が見えない中、身も心も疲弊していくウクライナの方々への支援を、土浦ユネスコ協会としてこれからも考えていきたい。

(2) 生徒の心に平和の砦を築くために

～『What's your World Peace? アートフェス』実践報告～

佐野日本大学中等教育学校 丹野隆史

(佐野ユネスコ協会)

「世界平和とは何だろうか?」…勤務校での探究学習テーマを考えながら、そんな疑問が浮かんだ。戦争や貧困などが無い世界のことか。そんなことを考えるが、そのような状況ではない現実にも首を傾げる。今話題のChat GPTによれば、世界平和の定義とは以下のようなようだ:

世界平和とは、戦争や紛争のない、全世界が安全で、平和で、調和のとれた状態のことを指します。これは、国家間の紛争や暴力行為、テロ攻撃、人種差別、環境破壊、貧困や不平等、そして他者への暴力や攻撃など、あらゆる形態の暴力や不安定要因が排除された社会のことを指します。

出典：<https://chat.openai.com/chat>
(質問 — 「世界平和とは?」に対する回答)

時同じくして新型コロナウイルス蔓延防止が声高に叫ばれ、世界中が閉塞感と停滞感で溢れていた。教育現場においても学びの活動が中止・延期となり、世界中の教育関係者たちがもどかしい気持ちになったに違いない。

このような状況を打破すべく、ユネスコ憲章が標榜する「心の中に平和の砦を築く」活動を具体的に実践すべきであると考え、「What's your World Peace? アートフェス」を企画した。栃木県内のユネスコスクール(6校)を対象に実施したが、この企画の目的は、児童・生徒が捉える世界平和を絵画として表現し、その過程を通じて一人ひとりが世界平和を希求する機運を高める機会とすることにある。

幅広い年齢層の生徒から提出されたが、考えさせられる作品が多くあった。日々の生活において、平和の在り方について考え、議論し、共有する機会というものは決して多くはない。しかし、このプロセスが平和を探求していくきっかけとなり、同心円状に伝播していき、各自の心に「平和の砦」を築くことができるよう、今後も活動を続けていきたい。



～「カブトムシと世界平和」はどのようにリンクするのか?～

第2分科会「世界遺産・未来遺産」

15:30~16:40 本多記念国際会議場

司会：(一社)新宿ユネスコ協会 村上正浩

(1) こんぶくろ池自然博物公園

～市民で育てる百年の森プロジェクト～

NPO 法人こんぶくろ池自然の森 理事長 萩原 秀夫

こんぶくろ池自然博物公園は、柏市北部・柏の葉地域にある自然湧水と湿地、多様性豊かな都市近郊林、そこに生息する動植物からなる18.5haの自然公園です。また、園内には、野馬土手、掩体壕、秋水戦闘機燃料庫などの歴史遺産もあります。一方、2005年のつくばエクスプレス線開業後の周辺の土地区画整理事業が進行中であり、自然湧水の涵養域は減少し、希少植物も減りつつあります。

NPOが発足して13年になりますが、当地が柏市によって公園化されるずっと以前より、市民ボランティアによる清掃活動、希少植物などの調査活動が行われてきた経緯もあり、現在でも公園の管理業務は当NPOが柏市から受託し、①下草刈り、間伐、木道整備などの里山活動、②希少植物等の保全・再生、③園内の植生、昆虫・土壌動物や水質などの調査活動、④この公園の意義を次世代に伝えるための環境教育等に取り組んでまいりました。

この度「未来遺産」に登録されましたのは、1980年代から続く市民による地道な自然保護活動そのものに光を当てていただき、客観的に評価された証であると同時に、「百年の森」を目指して大きな役割をあらためて託されたと理解しています。

自然相手の活動に正解や到達点はありません。とりわけ都市近郊の自然環境は、受動的に「残る」ものではなく、能動的に「守る」、「残す」ことが不可欠です。貴重な森林生態系や生物多様性を将来にわたって保全していくとともに、歴史や文化遺産といった公園の価値を守りつつ、さらには周辺地域の街づくりも視野に入れた地域との協働の仕組みを展開することにより、森と人の営みを活かしたコミュニティづくりや、自然と共生する街づくりに貢献していくことを目指しています。



(2) 未来遺産 沼須人形芝居あけぼの座の活動と沼田ユ協の連携

沼田ユネスコ協会 事務局長 大島 俊夫

沼田市の「沼須人形芝居あけぼの座」が2022年度の日本ユネスコ協会連盟「プロジェクト未来遺産」に群馬県で初めて認定され、5月13日(土)に登録証伝達式が行われた。

沼須人形芝居は幕末に始まり、一時中断をしたこともあったが、昭和50年に保存会が結成され「あけぼの座」として復活した。一人で一体の人形を操るのが特徴で、人形、語り、三味線などすべての役割を座員が分担する。毎年4月3日の沼須砥石神社の祭りで演じられるほか、郷土芸能祭、社会福祉施設、県内外の発表会などで演じられている。

20年ほど前からは教育委員会と連携し、市内の小学校の総合学習で子どもたちに人形に触れさせ体験学習をする機会を継続し、先代から受け継いだ伝統芸能というたすきを、若い世代にもつなぎ、100年後の子どもたちにも伝えていきたいという意気込みで、今では小・中・高校・大学生から90代の高齢者まで40名近い団員が家族的な雰囲気の中で楽しく活動している。沼田ユネスコ協会の会員の中にもあけぼの座の団員が何人かいる。

未来遺産指定を受けて、SDGs/ESD教育活動の一環として、沼須人形芝居だけでなく沼田祇園ばやし保存会など、地域の伝統芸能や文化遺産を保存推進する活動と、今後も、さらに連携・協力していきたい。



座長の十八番 壺坂靈験記の舞台

司会：学び舎江戸東京ユネスコクラブ 櫻田誠

(1) 平和を考えるシンポジウムシリーズの開催 ・東京海洋大学との共創

港ユネスコ協会 顧問 永野 博

最近、「人新世」という言葉を聞くことがある。40億年に及ぶ地質はジュラ紀、白亜紀のように区分して命名されているが、1945年頃より後の地層が特異な特徴を有することから、世界の人々の価値観を変えるためにも新たな地層名が必要ではないかという議論が起こり、「人間が引き起こした新しい地質時代」を表現する言葉として誕生した。

これほどの変化を地球に与えている人類の活動は地球環境に不可逆的な影響をもたらすに違いない。気候変動は既に気候難民を生み出し、世界各地での戦争の引き金にもなっている。平和の実現を理念とするユネスコを草の根レベルで支援する地域ユネスコ協会にとって「科学・環境」は分科会のテーマとして欠かすことができない。

地球環境を左右するキープレイヤーともいえる海を教育・研究の対象とする東京海洋大学が港区に所在することもあり、港ユネスコ協会と同大学は毎年、学生や生徒を募り、「東京の森川海を知る」をテーマに東京湾岸の水辺の観察などを行い、相互に不可欠な森、川、海の一体的な循環システムを理解する活動を行っている。同大学のigoanユネスコクラブは水圏環境を人々に知ってもらうため、さまざまな活動を行っている。

港ユネスコ協会は毎年、「平和を考えるシリーズ」と題する公開シンポジウムを開き、これまで科学・環境に関連する「気候変動についてできることーSDGsのための学びとアクション」、「魅力ある海を次世代につなぐために一國連海洋科学の10年が始まる」という地球環境の変化に対して私たちが何をすべきかを考えるテーマを取り上げ、それらが平和にどうつながるかを考えてきた。

このような港ユネスコ協会と東京海洋大学における活動が、地域ユネスコ協会は何を行うべきかという本分科会での討論の参考となることを期待したい。



浜離宮の水辺で水生生物の説明をする
東京海洋大学の佐々木先生

(2) 私たちの活動として 「学校支援協力活動」に於ける ユネスコスクールとの取り組み

蓮田・白岡地方ユネスコ協会 理事 江原 泰子

はじめにユネスコスクール(Uスクールと表記)の現況を知ることからはじめよう

1. 当協会がUスクール加盟実現に取り組んだ理由

- ①「ESDの持続可能な担い手はUスクールから生まれる」ことを期待し、会員向けUスクール講座を実施して意識改革をした。
- ②協会外では2011年11月15日市議会で請願の提出準備をし、行政・教育委員会等に理解を求め、申請確認をして時を待った。結果2016年2月、蓮田市の旗艦校たる2校が承認された。
○蓮田市立蓮田中央小学校
○蓮田市立蓮田中学校

6月、両校と八幡中学校(さいたま市)・自由の森学園にも連盟の委託を受けてプレート贈呈をした。

2. 現在の動き

Uスクールからキャリア教育の要請で「子どもたちが世界を知り、将来を目指す指針となること」を目的として出前講座を提案し実施中である。加盟校以外にもこれが伝わり徐々に依頼が広がる傾向。タイトルも多岐にわたるが、常に受講者目線で実施を心掛けている。

〈演題の例〉 *南極越冬隊長の話(キャリア教育)
*JICAの仕事と開発途上国の話
*10年後の君たちへ
*感染症や貧困問題を紐解く
*人権について・・・など

3. 今後の課題

- ①教育機関とより接点を多くしたい。
- ②周辺校にも質の高い教育のお手伝いをしたい。
その為にも地域連携もはかり、提案出来る引出しを増やしていく。
- ③教育委員会の意向を受け未加盟の蓮田市11校(中4校・小7校)加盟申請を進める。
- ④白岡市にも加盟普及活動をしたい。

纏めとして

- ・次世代の担い手を育成する「学校支援協力活動」は少しずつ成果をあげている。
- ・当協会との連携を希望する学校が増えつつある。
- ・学校と良き関係を保ち、情報の共有を進めていく為に「ACCU」と「協会連盟」そして「地域ユ協」の立ち位置を皆様と考えたい。



UNESCO 憲章（前文）

この憲章の当事国政府は、その国民に代わって次のとおり宣言する。

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

ここに終わりを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代りに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。

文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、かつ、すべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果たさなければならない神聖な義務である。

政府の政治的及び経済的取極のみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって、平和は、失われたいためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かれなければならない。

これらの理由によって、この憲章の当事国は、すべての人に教育の充分で平等な機会が与えられ、客観的真理が拘束を受けずに探究され、かつ、思想と知識が自由に交換されるべきことを信じて、その国民の間における伝達の方法を発展させ及び増加させること並びに相互に理解しおよび相互の生活を一層真実に一層完全に知るためにこの伝達の方法を用いることに一致し及び決意している。

その結果、当事国は、世界の諸人民の教育、科学及び文化上の関係を通じて、国際連合の設立の目的であり、かつ、その憲章が宣言している国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するために、ここに国際連合教育科学文化機関を創設する。

2023年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 東京

発行日：2023年9月3日

発行／制作：

東京都ユネスコ連絡協議会

関東ブロック・ユネスコ活動研究会実行委員会

会長	永野博	実行委員長	池田敬介
副会長	斉藤眞澄	・ 宮崎冴子	・ 山田正
事務局長	木間明子		
事務局次長	城所信英	・ 佐藤律子	
会計	佐藤直子		

手に手をとって
(ユネスコの歌)

菱山修三 作詞
古関裕而 作曲

明るく楽しく ♩ = 112

せ かい じゅう の ひ と たち が み ん な 手 に 手 を
つ ない だ ら せ かい は 一 日 の 照 る ま ひ る に なる
に な る み ん な は な お を つ っ く っ た ら は な
お と は な お を む す ん だ ら ぐ る ぐ る ま わ る 輪
に な っ て ひ ろ い 地 球 を か こ ん だ ら
あ あ ユ ネ ス コ あ あ ユ ネ ス コ

世界じゅうの ひとたちが
みんな 手に手をつないだら
世界は
日の照る まひるになる
みんな 花輪をつくったら
花輪と花輪を むすんだら
ぐるぐる まわる 輪になって
ひろい地球を かこんだら
世界は
あかるい 苑になる
ああ ユネスコ ああ ユネスコ

青山学院大学青山キャンパス 構内案内図

